

理不尽に 涙する人を 生み出さない 社会をつくる。



弁護士として直面した課題

- コロナ禍で派遣労働者が真っ先に解雇。
生活が立ち行かず、弱い人にしわ寄せが…
- 小学校でのいじめを教育委員会が情報隠蔽、
問題が根本解決せず、うやむやに…
- 男女間の賃金格差、
経済的に不安定な状況にある女性の問題…
- 企業の情報開示が不十分で、
経営者の責任を問うことができなかったこと…
- 奨学金で親戚が連帯保証人になっている問題…



すべての人と対等に、敬意を持って

「儲かりすぎて頭がおかしくなりそうだ」と言っていた人が破産の相談に来たり、生活保護を受けざるを得なくても頑なに拒む人がいたり、色々な境遇にある人たちと関わってきました。地位の高低、資産の多寡で人の価値が決まるわけではありません。偉い人にも卑屈にならず、弱い立場にある人にも尊大にならない。それが私の政治への姿勢であり、人としての態度です。



姿勢

決着させず癒着を断つ!!

いま、自民党のパーティー券裏金問題がクローズアップされています。「一議員500万円以下は、おとがめなし」など、国民の常識では考えられません。国民の側に立って、裏金のゆくえを厳しく追及してまいります。



全体像を把握し、 最善の選択肢を示す

法律相談に来る人は、自分ではどうすることもできず不安で眠れぬ日々を過ごしている場合が多いです。その人たちには、何も心配はいらないと説得します。状況分析、予想される事態とリスクで道筋を示し、少しでも枕を高くして寝ることができる状態をつくります。全体像を把握し、あらゆる可能性を想定し、最善の道を選ぶ。そして得体のしれぬ不安を取りのぞき、安心して暮らせるようにすること。政治もプロセスは同じだと確信しています。



行動原則

自民 裏金問題徹底追及へ!!

理不尽と闘う!!